

令和5（2023）年度博士前期課程（一般選抜・秋期試験）問題 目次

外国語試験			ページ
英語・ドイツ語・フランス語・露語・中国語・西語			1 - 9
専門試験			ページ
人文学専攻	哲学コース	哲学哲学史	10 - 11
		科学技術社会論	12 - 13
		臨床哲学	14 - 15
		中国哲学	16
		インド学・仏教学	-
	グローバルヒストリー・ 地理学コース	東洋史学	-
		西洋史学	17 - 18
		人文地理学	19 - 20
	文学コース	中国文学	21 - 22
		英米文学	23 - 26
		ドイツ文学	27 - 28
		フランス文学	29 - 30
		テキスト環境論	31 - 33
	比較・対照言語学コース	比較・対照言語学	34 - 36
日本学専攻	基盤日本学コース	現代日本学	37
		日本史学	38 - 44
		考古学	45 - 46
		日本文学・日本語史学	47 - 54
		基盤日本語学	55 - 56
芸術学専攻	アート・メディア論コース	アート・メディア論	57 - 58
	美学・文芸学コース	美学	59 - 61
		文芸学	-
	音楽学・演劇学コース	音楽学	62 - 65
		演劇学	66 - 68
	日本東洋美術史・西洋美術史コース	日本東洋美術史	-
		西洋美術史	69 - 71

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
外国語試験 英語
〔問題用紙は2枚です。〕
（1枚目/2枚中）

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I. 次の英文を読んで、下線部を日本語に直しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は以下の通りです。

【出典】 Raymond Knapp, Mitchell Morris, and Stacy Wolf eds., *The Oxford Handbook of The American Musical*. London: Oxford UP, 2011. p.111~12. 一部改変。

II. 次の英文を読んで、下線部を日本語に直しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は以下の通りです。

(2枚目/2枚中)

【出典】 TIME, MAY 11, 2022. (<https://time.com/6174966/north-south-pole-melting-climate-change/>) 1.1-1.12. 2022/8/26 参照

III. 次の文章の下線部を英語に訳しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典】 中西進(2002) 「スリの話」 『木炭日和』 文春文庫 p. 21 1. 4～1. 11.

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

外国語試験 フランス語

〔問題用紙は1枚です。〕

（1枚目/1枚中）

問1 次の文章を日本語に訳しなさい。

※問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は以下の通りです。

出典：<https://www.rtl.fr/actu/debats-societe>, 23/08/2022

問2 次の文章を日本語に訳しなさい。

※問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は以下の通りです。

出典：Catherine Bertho Lavenir, *La Roue et le Stylo – Comment nous sommes devenus touristes*, Paris, Éditions Odile Jacob, 1999, p. 63, l. 1-7.

令和5(2023)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／一般選抜・秋期試験)入学者選抜試験問題
外国語試験 ドイツ語
[問題用紙は1枚です]
(1枚目／1枚中)

問題1 次のドイツ文の下線部を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

(出典: Christian Trollmann, *Nationalsozialismus auf Japanisch?* Berlin: Frank & Timme 2016, S.16,
Z.23-29.)

問題2 次のドイツ文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

(出典: <https://www.infovac.ch/de/faq/epidemien> なお出題にあたり、本文の一部を改変している。)

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

外国語試験 イタリア語

〔問題用紙は2枚です。〕

（1枚目/2枚中）

I. 庭園史という学問の誕生に関する次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Carlo Tosco, *Storia dei giardini. Dalla Bibbia al giardino all'italiana*, Bologna, il Mulino 2018, p.13, l. 1-20.

問 1. 下線 1)を日本語に訳しなさい。

問 2. 下線 2)を日本語に訳しなさい。

(2枚目／2枚中)

Ⅱ. 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Marco Aime, *L'Isola Del Non Arrivo. Voci da Lampedusa*, Torino, Bollati Boringhieri, 2018, p.14, l. 1-12.

問 1. 下線部 Qui tutti vengono da fuori. の経緯を本文に即して、具体的に日本語で説明しなさい。

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
外国語試験 ロシア語
[問題用紙は2枚です。]
（1枚目/2枚中）

解答はすべて解答用紙にすること

問1 別紙1の（1）の文章は、Ирина Денежкина, *Дай Мне!*, Линбус Пресс, 2004, с.7л1-с.8л10です。この文章を日本語に翻訳しなさい。

問2 別紙1の（2）の文章は、Е. В. Шахматова, *Искания европейской режиссуры и традиции востока*, Эдиториал УРСС, 1997, с.5.л1-л7です。この文章を日本語に翻訳しなさい。

問3 以下の日本語をロシア語に翻訳しなさい。

「今年の春休みに友人とモスクワにロシア語研修を兼ねて旅行しました。お天気が良かったですが、雪解けが始まったばかりで、まだあちこちに雪が残っていました。友人は街を散歩中に滑ってしまい、コートが泥水で汚れてしまいました。劇場は演劇シーズンの真っ最中で、たくさん舞台を見ることができて楽しかったです。」

(2枚目/2枚中)

別紙1

(1)

※問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は以下の通りです。

Ирина Денежкина, *Дай Мне!*, Линбус, Пресс, 2004, с.7л1-с.8л10

(2)

※問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は以下の通りです。

Е. В. Шахматова, *Искания европейской режиссуры и традиции востока*, Эдиториал УРСС, 1997, с.5л1-л7

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
外国語試験 中国語
〔問題用紙は1枚です。〕

I 次の文章を読み、後の問いに答えよ。解答はすべて日本語を用いること。

※問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は以下の通りです。

陸文夫「你吃过了吗」（『陸文夫文集』古吳軒出版社、2006年）より

- 問一 下線部（1）はどういう意味か、文脈を踏まえて説明せよ。
問二 下線部（2）を日本語訳せよ。
問三 下線部（3）はどのような心理を反映するのか、文章全体の趣旨を踏まえて説明せよ。
問四 下線部（4）を日本語訳せよ。

II あなた自身の専門分野に関して思うところ、考えるところを中国語（400字程度）で自由に述べよ。

(1枚目/2枚中)

令和5(2023)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 哲学コース (哲学哲学史受験分野) 専門試験

[問題用紙はこの用紙を含めて2枚です。]

- 注意 ①解答はすべて添付の所定の解答用紙に記入すること
②問題用紙は持ち帰ること

I. 以下の独語文を日本語に全訳しなさい。

独語

Wenn es Fragen der Ethik gibt, die einen Sinn haben und daher beantwortbar sind, so ist die Ethik eine Wissenschaft. Denn die richtigen Antworten auf ihre Fragen werden ein System wahrer Sätze bilden, und ein System von wahren Aussagen über einen Gegenstand heißt eben die »Wissenschaft« von dem Gegenstande. Sie gibt *Erkenntnis* und nichts anderes, ihr Ziel ist allein die Wahrheit, das heißt: jede Wissenschaft ist als solche rein theoretisch. So sind auch die Fragen der Ethik rein theoretische Probleme – als Ethiker streben wir nur danach, die richtigen Lösungen dafür zu finden; ihre praktische Anwendung, falls eine solche möglich ist, fällt nicht mehr in den Bereich der Ethik. Wenn jemand jene Fragen studiert, um die Ergebnisse auf Leben und Handeln anzuwenden, so hat zwar seine *Beschäftigung* mit der Ethik ein praktisches Ziel, sie selbst aber hat nie ein anderes Ziel als Wahrheit.

(Moritz Schlick, *Fragen der Ethik*, 1984, Suhrkamp Verlag, Frankfurt am Main, S. 54, Z. 3-16.)

II. 人間の尊厳について論じなさい。

III. 以下の術語の中から、2項目を選択し、その番号を記した上で3行程度で説明しなさい。

1. 観照的生活 (アリストテレス)
2. 「モナドには窓がない」
3. 知覚の束
4. プラグマティズムの格率
5. 反証主義

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 哲学コース（科学技術社会論受験分野） 専門試験
〔問題用紙は2枚です。〕
（1枚目/2枚中）

注意 ①解答はすべて所定の解答用紙に記入すること ②問題用紙は持ち帰ること
--

I 次の英文を読み、日本語で5行程度で要約しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
Tricia Bertram Gallant ed., Creating the Ethical Academy, Routledge, 2011, p. 29, ll. 9-25.

(2 枚目／2 枚中)

Ⅱ 以下の語句の中から、3 項目を選択し、その番号を記した上で3 行程度で解説しなさい。

- 1 ピア・レビュー
- 2 デュアル・ユース問題
- 3 科学革命
- 4 トロッコ問題
- 5 災害ユートピア

Ⅲ SDGs (持続可能な開発目標) の達成にむけてテクノロジーが果たすべき役割について、論点を整理したうえで、自らの考えを日本語で論述しなさい。その上で、その要約を5 行程度の英文で書きなさい。

令和5(2023)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 哲学コース (臨床哲学受験分野) 専門試験
[問題用紙が1枚・添付資料が1枚、全部で2枚です]

問題1 次のA～Eの中から2つを選び、簡潔に論じなさい。

- A. 他者が重視されることの現代的な意味について、哲学・倫理学の学説に関連づけて論じなさい。
- B. 対話とはどのような営みであるのか、哲学・倫理学の学説に関連づけて論じなさい。
- C. 多様な身体をめぐるソーシャル・インクルージョンについて論じなさい。
- D. 社会福祉における Well-being について論じなさい。
- E. 恋愛／性愛規範性 (amatonormativity) について論じなさい。

問題2 別紙資料は、荻野美穂著『中絶論争とアメリカ社会：身体をめぐる戦争』の一部である。アメリカ合衆国の連邦最高裁判所は、2022年6月に人工妊娠中絶をめぐる裁判において「憲法は中絶する権利を与えていない」として、半世紀近くにわたって判例となってきた1973年の「中絶は憲法で認められた女性の権利」だとする判断を覆した。別紙資料では、1973年の判決を経て中絶の「権利」が認められたことが与えた影響に対する考察が書かれている。この資料を読んで、国家の権力にもとづく法規による決定がはらむ問題性を整理し、1) 文章の内容を要約するとともに、2) 胎児をふくむ個人および集団の倫理的判断や感性にたいして法規による介入がもたらす矛盾や問題点について、あなたのかんがえをのべなさい。

問題文(別紙資料)は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

荻野美穂『中絶論争とアメリカ社会：身体をめぐる戦争』(岩波書店)2012年77頁6行～80頁5行

添付
別紙資料

令和五（二〇二三）年度

大阪大学大学院人文科学研究科 人文学専攻・日本学専攻基礎日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻 哲学コース（中国哲学 受験分野）専門試験

「問題用紙は1枚です。」

（1枚目／1枚中）

【問一】次の文章は『道徳経』から引用したものである。文章を読んで後の設問に答えなさい。（※解答はすべて解答用紙に縦書きで記すこと。）

① 太上下知有之。其次親而譽之。其次畏之。其次侮之。信不足焉、有不信焉。悠兮、其貴言。

功成事遂、百姓皆謂我自然。② 大道廢、有仁義。智慧出、有大偽。六親不和、有孝慈。國家

昏亂、有忠臣。③ 絕聖棄智、民利百倍。絕仁棄義、民復孝慈。絕巧棄利、盜賊無有。此三者、

以爲文不足、故令有所屬。見素抱樸、少私寡欲。

* 「太上」——最高の支配者。

* 「悠兮」——慎みなさき。

（1）『道徳経』の作者や成り立ちについて解説しなさい。

（2）傍線部①を讀み下しなさい。

（3）傍線部②の意味するところについて、前文を踏まえながら分かりやすく説明しなさい。

（4）傍線部③の主張について分かりやすく説明しなさい。

（5）本文全体から読み取れる思想的特徴について記述しなさい。

【問二】次の各語について解説しなさい。

（1）玄学

（2）五經正義

（3）天人相関説

（4）雄書

（5）四書集注

（6）韓愈

（7）程頤

（8）鄭玄

（9）良知

（10）説文解字

【問三】次の題目について、小論文を記述しなさい。

「陰陽思想について」

令和5(2023)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題

人文学専攻 グローバルヒストリー・地理学コース (西洋史学受験分野) 専門試験

[問題用紙は2枚です。]

(1枚目/2枚中)

注意：解答は、別紙解答用紙に問題番号を書いてから記入しなさい。また、各問題の枝問の記号や番号も記すこと。

設問1. ①～③から1問を選択し、解答しなさい。

- ① 前近代のヨーロッパにおいて、新たな技術やモノが、社会を大きく変えた事例について、論述せよ。
- ② 帝国主義が果たした役割について、具体的に述べなさい。また帝国主義への注目が、歴史研究にもたらす効果について論じなさい。
- ③ ジェンダーとは、生物学的な性差に対して社会的な性差として定義されてきたが、こうした定義の問題点を指摘する人びともいる。社会的性差としてのジェンダー概念の有効性と問題点について論じなさい。

設問2. ①～⑥の語句のなかから2つを選択し、説明しなさい。

- ① 互酬性
- ② カールの戴冠
- ③ カピチュレーション
- ④ ハイチ革命
- ⑤ 啓蒙専制君主
- ⑥ ジェノサイド

(2枚目/2枚中)

設問3. 以下の文章は、Bain Attwood, ed., *In the Age of MABO: History, Aborigines and Australia*, St. Leonards: Allen & Unwin, 1996, pp.2-4 からの抜粋である。文章を読んで、次の①～④に答えなさい。

- ① 線で囲んだ(a)～(c)の部分を日本語に訳しなさい。
- ② Paddy Wainburranga の描くキャプテン・クックはどういう人物か。答えなさい。
- ③ Hobbles Danayarri にとってキャプテン・クックはどういう人物か。答えなさい。
- ④ アボリジナルの法とクックの法の大きな違いは何か。答えなさい。

※問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は問題文の通りです。

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 グローバルヒストリー・地理学コース （人文地理学受験分野） 専門試験
[問題用紙は2枚です。]
（1枚目/2枚中）
（中辞典程度の英語辞書の持ち込みを可とします）

以下の問い（問1～問3）に答えなさい。解答は、解答用紙に記入すること。

問1

次の（a）～（i）は、地理学に関連する理論や概念を挙げたものである。これらの中から2つを選んで解説しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| （a）計量革命 | （b）地理学の第一法則 | （c）反都市化 |
| （d）チューネン圏 | （e）乾地農法 | （f）空間的相互作用 |
| （g）時間地理学 | （h）メンタルマップ | （i）文化進化 |

問2

次の（a）～（d）の問いの中から1つを選んで解答しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- （a）熱帯農業の農法的特徴について説明しなさい。
- （b）大都市内部におけるエスニック集団の集住について説明しなさい。
- （c）明治期以降の日本列島における土地被覆・土地利用の歴史について説明しなさい。
- （d）人・モノ・情報の拡散研究における理論と方法について説明しなさい。

(2枚目/2枚中)

問3

つぎの英文は、ある学術雑誌に発表された論文のアブストラクトである。これを読んで、下の問い(問ア～問ウ)に答えなさい。

(問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。)

Mertz, O., Bruun, T.B., Jepsen, M.R., Ryan, C.M., Zaehring, J.G., Hinrup, J.S., Heinemann, A. (2021) "Ecosystem service provision by secondary forests in shifting cultivation areas remains poorly understood", *Human Ecology* 49: 271-283. (引用箇所は 271 ページ) よりアブストラクト部分の全文掲載。

問ア

下線部 (a) を日本語に訳しなさい。

問イ

下線部 (b) が指す具体的内容について説明しなさい。

問ウ

下線部 (c) のように結論する理由を説明しなさい。

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻 文学コース（中国文学受験分野） 専門試験

〔問題用紙は2枚です。〕

（1枚目/2枚中）

- I 次にあげる詞を読み、後の問いに答えよ。解答にはすべて日本語を用いること。

蝶戀花 五代・馮延巳

誰道閑情拋棄久。每到春來。惆悵還依舊。日日花前常病酒。不辭鏡裏朱顏瘦。
河畔青蕪堤上柳。爲問新愁。何事年年有。獨立小樓風滿袖。平林新月人歸後。

浣溪沙 北宋・晏殊

一曲新詞酒一杯。去年天氣舊亭台。夕陽西下幾時回。
無可奈何花落去。似曾相識燕歸來。小園香徑獨徘徊。

- 問1 「蝶戀花」の押韻について、韻字をすべてあげながら説明せよ。
問2 馮延巳と晏殊について、知るところを述べよ。
問3 「浣溪沙」を日本語に訳せ。
問4 二つの作品の主題や表現形式上の異同を比較して分析せよ。

(2 枚目/2 枚中)

Ⅱ 次にあげる二つの文章を読み、後の問いに答えよ。解答にはすべて日本語を用いること。

自晉訖隋，特多鬼神誌怪之書。其書有出於文人者，有出於教徒者。文人之作，雖非如釋道二家，意在自神其教，然亦非有意為小說，蓋當時以為幽明雖殊途，而人鬼乃皆實有，故其敘述異事，與記載人間常事，自視固無誠妄之別矣。

魯迅『中国小説史略』第五篇「六朝之鬼神誌怪書（上）」

小説亦如詩，至唐代而一變，雖尚不離於搜奇記逸，然敘述宛轉，文辭華艷，與六朝之粗陳梗概者較，演進之跡甚明，而尤顯者乃在是時則始有意為小說。胡應麟（《筆叢》三十六）云：“變異之談，盛於六朝，然多是傳錄舛訛，未必盡幻設語，至唐人乃作意好奇，假個說以寄筆端。”其云“作意”，云“幻設”者，則即意識之創造矣。

魯迅『中国小説史略』第八篇「唐之傳奇文（上）」

問1 下線部を日本語に訳せ。

問2 この文章には、中国の叙事文学史上におけるどのような現象が語られているだろうか。説明せよ。

令和5(2023)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 文学コース (英米文学受験分野) 専門試験
[問題用紙は4枚です。]
(1枚目/4枚中)

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I 次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

- (1) ロシア・フォルマリズムが提唱した“defamiliarization”の概念を、第1パラグラフに即して解説しなさい。
- (2) 下線部で比喩を用いて説明されていることを、第2パラグラフに即して解説しなさい。
- (3)

【出典】Barbara Foley, *Marxist Literary Criticism Today* (London: Pluto Press, 2019), p. 103, l. 14-p. 104, l. 25

II 以下の文章はある小説の冒頭部分である。これを読んで、物語がその基本設定において依拠していると思われる原作小説の展開をふまえ、語り手兼主人公をめぐってどのような物語的状況が読み取れるか、100～150語程度の英語で説明しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典】 Robert Coover, *Huck Out West*. Norton, 2017. p.11.2 ~p.21.24

Ⅲ 次の詩を読んで、下の設問に答えなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

- (1) この詩の全詩行を日本語に訳しなさい。
- (2) この詩全体のモチーフおよびフォーム（形式）について、日本語で解説しなさい。

【出典】 Neil McEwan (ed.), *Macmillan Anthologies of English Literature: The Twentieth Century (1900-present)* (London: Macmillan Education, 1989), p. 208, ll. 1-12

IV 次の日本語を英語に訳しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典】 佐久間みかよ著、『個から群衆へ—アメリカ国民文学の鼓動』、春風社、2020年、p.6, ll.1-6.

令和5(2023)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基礎日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／一般選抜・秋期試験)入学者選抜試験問題

人文学専攻 文学コース (テキスト表現論・ドイツ文学受験分野) 専門試験

[問題用紙は2枚です。]

(1枚目/2枚中)

問題1 以下のドイツ文の下線部を、日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Komposita 複合語

(出典. Miriam Annabelle Wray, *Ornament und Mode bei Kafka, Broch und Musil*, Bielefeld: transcript 2019, S.39, Z.9-17.なお出題にあたり、本文の一部を改変している。)

問題2 以下のドイツ文を、日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

(出典: Stefan Bodo Würffel, *Das deutsche Hörspiel*, Stuttgart: Metzler 1978, S.21, Z.28-36.)

(2枚目/2 枚中)

問題3 ドイツ文学史・文化史にかかわる以下の事項から3つを選び、日本語で説明しなさい
(それぞれ250字程度)。

- 1) Idylle 2) Kalendergeschichte 3) Märchen
- 4) Lesedrama 5) Junges Deutschland 6) Wilhelm Tell
- 7) Jahrhundertwende 8) Tragikomödie 9) Zürich
- 10) Verfilmung

問題4 以下のテーマからひとつを選び、ドイツ語で自由に論じなさい(200語程度)。

- 1) Erziehung 2) Ausländer 3) Garten

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻 文学コース（テキスト表現論・フランス文学受験分野） 専門試験

[問題用紙は2枚です。]

問1 次の文章を日本語に訳しなさい。

On ne peut guère supposer que des hommes aussi sensibles que les anciens eussent manqué d'yeux pour voir la nature, et de talent pour la peindre, si quelque cause puissante ne les avait aveuglés. Or, cette cause était la mythologie, qui, peuplant l'univers d'élégants fantômes, ôtait à la création sa gravité, sa grandeur et sa solitude. Il a fallu que le christianisme vînt chasser ce peuple de faunes, de satyres et de nymphes, pour rendre aux grottes leur silence, et aux bois leur rêverie. Les déserts ont pris sous notre culte un caractère plus triste, plus vague, plus sublime [...] : le vrai Dieu, en rentrant dans ses œuvres, a donné son immensité à la nature.

Le spectacle de l'univers ne pouvait faire sentir aux Grecs et aux Romains les émotions qu'il porte à notre âme. Au lieu de ce soleil couchant, dont le rayon allongé, tantôt illumine une forêt, tantôt forme une tangente d'or sur l'arc roulant des mers ; au lieu de ces accidents de lumière, qui nous retracent chaque matin le miracle de la création, les anciens ne voyaient partout qu'une uniforme machine d'opéra.

注) faune, satyre, nymphe : ファウヌス、サテュロス、ニンフ（いずれもギリシア・ローマ神話に登場する神や精霊） tangente : 接線

【出典 : Chateaubriand, *Génie du christianisme* [1802], dans *Essai sur les révolutions, Génie du christianisme*, texte établi, présenté et annoté par Maurice Regard, Paris, Gallimard, « Pléiade », 1978, p. 719, l. 12-34】

[1枚目／2枚中]

問2 次の A～F の人名または用語から 2 つを選び、それぞれについて 3～5 行程度の日本語で説明しなさい。

A. Affaire Dreyfus

B. Jean Calvin

C. *Encyclopédie ou Dictionnaire raisonné des sciences et des arts et des métiers*

D. Jansénisme

E. La légende du roi Arthur

F. Stéphane Mallarmé

問3 博士前期課程におけるあなたの研究主題について、フランス語で具体的に論じなさい。

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 文学コース （テキスト環境論受験分野） 専門試験
〔問題用紙は 3 枚です。〕
（1 枚目/ 3 枚中）

I 次の英文を読み、括弧「 」内を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典：Gerald Graff, “What Was New Criticism?: Literary Interpretation and Scientific Objectivity”
(*Salmagundi*, Summer–Fall 1974, No. 27, p. 72, l. 1–p. 73, l. 3)

II 次の日本語訳詩を英語の原詩と比較し、翻訳者がどのような改変や工夫を行っているか、400字程度で論じなさい。出典は Alfred Ainger (ed.), *Poems of Thomas Hood* (London: Macmillan, 1897) vol.1, p.168, 1.1-17 と大和田建樹訳編『欧米名家詩集』上巻(博文館、一八九四年), p.74, 1.3-p.77, 1.2 によります。

THE DEATH-BED

We watch'd her breathing through the night,
Her breathing soft and low,
As in her breast the wave of life
Kept heaving to and fro.

So silently we seem'd to speak,
So slowly moved about,
As we had lent her half our powers
To eke her living out.

Our very hopes belied our fears,
Our fears our hopes belied—
We thought her dying when she slept,
And sleeping when she died.

For when the morn came dim and sad,
And chill with early showers,
Her quiet eyelids closed—she had
Another morn than ours.

今
は
の
床

其
一

夜と共に静まりゆく
其時及ば低くかすか
命の波の身によせて
さなふ程もいつまでも

其
二

かなるにも聲をこめ
あやむにも音をこめ

消えゆく命のはきんど

力のかり唯それし

其
三

寐る時は死すとおもひ

死せしをば寐るぞ見る

旦にやきかふ胸のうち

恐れよ望みよ死よ生よ

其
四

夜は明けぬ雨は落ちぬ

寒き空かなしき床

ささす眼は又いつか

我世の朝を共に見ん

注

heave: to cause to swell or rise

eke: to get with great difficulty

Ⅲ 次の文章は、川端康成の小説「金絲雀」の全文です。これを讀んで、以下の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典 『川端康成全集』第二巻、新緑社、一九八二年一〇月、四五頁二行目、四六頁一七行目

問

(イ) 傍線部について、「金絲雀」を「殺して墓の裏に埋め」という行爲は何をあらわしていると考えられるか、説明せよ。

(ロ) この作品の形式である「書簡体」について、この作品における効果を説明し、加えて「書簡体小説」についてあなたの知っていることを述べよ。

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻 比較・対照言語学コース 専門試験

〔問題用紙は3枚です。〕

（1枚目/3枚中）

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I. 以下の用語のうちから5つを選んで、日本語で説明しなさい。

- | | |
|---|---------------------------|
| (1) Polysemy | (9) Causative alternation |
| (2) Phrasal verb | (10) Quantifier raising |
| (3) Trajectory and landmark | (11) Deixis |
| (4) Topicality | (12) Distinctive feature |
| (5) Performative verb | (13) Anaptyxis |
| (6) Presupposition | (14) Labio-dental plosive |
| (7) Compositionality | (15) Linguistic taboo |
| (8) Derivational and inflectional morphemes | |

II. 以下の3つの英文の中から2つを選んで、日本語に直しなさい。(B)を選択する場合は、下線部のみを直しなさい。

(A) 問題文は著作権等に配慮して、割愛します。なお出典は以下の通りです。

[出典: Alexander Bergs (2012) *Synchronic English Linguistics*. Frankfurt am Main: Peter Lang. p. 76, l. 20-1.30]

(B) 問題文は著作権等に配慮して、割愛します。なお出典は以下の通りです。

[出典: Sandrine Zufferey, Jacques Moeschler and Anne Reboul (2019) *Implicatures*. Cambridge: Cambridge University Press. p. 193, l.6-l.18. 一部改変.]

(2枚目／3枚中)

(C) 問題文は著作権等に配慮して、割愛します。なお出典は以下の通りです。

[出典: Laurel J. Brinton and Alexander Bergs (2017) *The History of English*. Berlin/Boston: De Gruyter, Mouton. p.9, 1.8-1.21]

III. 以下の2つの設問から1つを選んで日本語で答えなさい。

(A) 次の(1)は、**ever** という語は、構造上より高い位置に否定あるいは否定的な意味を含んだ語によって認可されなくてはならないことを示している。しかし、(2)のように否定や否定的な意味の表現が含まれなくても **ever** が認可される環境もある。さらに、(3)のように **ever** が主節の述語位置に生じると認可されない。なぜ(2)では **ever** が認可されるのか考えを述べなさい。例文中の「*」は、該当する文が非文法的であることを示します。

- (1) a. I {don't think/*think} that Angela ever liked pizza.
b. {Few/no/*many} people have ever heard of linguistics.
- (2) a. Everyone who has ever taken a math class passed the admission test.
b. If she ever wants to visit us, she should give us a call.
- (3) a. *Everyone who has taken a math class ever passed the admission test.
b. *If she wants to visit us, she should ever give us a call.

[例文出典: Andreea C. Nicolae. 2015. 'Questions with NPIs.' *Natural Language Semantics* 23. p. 22, 1. 26-1.37.]

(B) ラテン語 *stablire* が古仏語 *establir* を介してフランス語 *établir* と英語 *establish* に至る過程を解説しなさい。

(3枚目／3枚中)

IV. 以下の日本語文の下線部を英語に直しなさい。

問題文は著作権等に配慮して、割愛します。なお出典は以下の通りです。

[出典：小川芳樹、石崎保明、青木博史 (2020)『文法化・語彙化・構文化』東京：開拓社. vi 頁, 11-20 行]

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

日本学専攻 基盤日本学コース（現代日本学受験分野） 専門試験

〔問題用紙は1枚です。〕

（1枚目/1枚中）

〔Ⅰ〕日本研究の観点から、「学際性」について論じなさい。

〔Ⅱ〕次の項目から、4項目を選び、各項目について5行程度で説明しなさい。

- (1) 山片蟠桃 (2) 明六社 (3) 母性保護論争 (4) わらわし隊
- (5) ルース・ベネディクト (6) 近代化論 (7) 同和対策審議会
- (8) 戦後責任 (9) 女性の貧困 (10) アイヌ施策推進法
- (11) 祖霊信仰 (12) ジェンダー・ステロタイプ

〔Ⅲ〕次の4問のうちの1つを選んで答えなさい。

- (1) 華夷秩序という観点から、近世日本の儒者の自国認識について論じなさい。
- (2) 近世以降の沖縄（ウチナー）と日本（ヤマト）の関係について、世（ユー）という言葉を用いながら論じなさい。
- (3) 戦後日本における「記録」をつくる運動を一つ以上取り上げ、その位置づけと意義について具体的に論じなさい。
- (4) 日本のサブカルチャーにおけるジェンダー論的問題について、例を挙げて論じなさい。

(一枚目／七枚中)

令和五(二〇二三)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

(博士前期課程／一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題

日本学専攻 基盤日本学コース(日本史学受験分野) 専門試験

【注意】問題用紙は全部で七枚あります。解答用紙は横長に使い、縦書きで解答して下さい。

(I) 次の問いに答えなさい。

[45点]

古代・中世・近世・近現代のそれぞれの時代において、大阪の果たした役割を具体的に述べなさい(現在の大阪府域に関わっていればよい)。

(II) 次の歴史的な名辞(1)～(4)のうち三つを選び、研究史上の論点をふまえて説明しなさい。

[30点]

(1) 遣唐使

(2) 熊野御幸

(3) 松平定信

(4) 浜口雄幸内閣

(問題文は次に続く)

(二枚目／七枚中)

(Ⅲ) 次の設問(1)と(4)のうち、二つを選んで答えなさい。

[50点]

- (1) 次の史料は、山岸徳平・竹内理三・家永三郎・大曾根章介校注『古代政治社会思想』(日本思想大系、岩波書店、一九七九年)からの引用である。「意見封事十二箇条」のうちの一箇条を読んで、①と③の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【山岸徳平・竹内理三・家永三郎・大曾根章介校注『古代政治社会思想』(日本思想大系8、岩波書店、一九七九年)二八八頁】

- ①傍線aの「大帳」について、その内容を簡潔に説明しなさい。
②傍線bの「正税」について、その内容を簡潔に説明しなさい。
③傍線cを漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。

(問題文は次に続く)

(三枚目／七枚中)

- (2) 次の史料は、中世公家日記研究会編『政基公旅引付 本文篇 研究抄録篇 索引篇』(和泉書院、一九九六年)五五頁からの引用である。文亀元年(一五〇二)七月十五日条を読んで、①～④の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【中世公家日記研究会編『政基公旅引付 本文篇 研究抄録篇 索引篇』(和泉書院、一九九六年)五五頁】

- ① 傍線 a を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしない。なお、旧字・異体字は常用漢字に直すこと。
- ② 傍線 b を現代語訳しない。
- ③ 傍線 c 「折紙」について説明しない。
- ④ 傍線 d を、記号の指示をふまえて、漢字・平仮名交じりの書き下し文にしない。

(問題文は次に続く)

(四枚目／七枚中)

- (3) 次の史料は、山口県文書館編『萩藩閥閥録』第一巻(山口県文書館・マツノ書店、一九九五年)所収の史料である。この史料を読んで、①～③の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【山口県文書館編『萩藩閥閥録』第一巻(山口県文書館・マツノ書店、一九九五年)
二四三頁】

- ①この史料が発出された当時の将軍は誰か。漢字で答えなさい。
- ②この史料の「異國船」から「謹言」までを漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。なお、旧字体は常用漢字に直すこと。
- ③この史料の「異國船」から「謹言」までを現代語訳しなさい。なお、旧字体は常用漢字に直すこと。

(問題文は次に続く)

(五枚目／七枚中)

- (4) 次の史料は、一九〇〇年八月二十五日に発表された立憲政友会趣旨書である。この史料を読んで、①～④の問いに答えなさい。なお、史料は一部改変した箇所もある。

帝国憲法の施行既に十年を経て其効果見るべきものありと雖も、輿論を指導して善く国政の進行に貢献せしむる所以に至りては、其道未だ全く備らざるものあり。即ち各政党の言動或は憲法の既に定めたる原則と相扞格するの病に陥り、或は國務を以て党派の私に殉ずるの弊を致し、或は党内の大勢に対する維新の宏願と相容れざるの陋を形し、外帝国の光輝を揚げ、内國民の倚信を冀ぐに於て多く遺憾あるを免れざるは、博文の久しく以て憂としたる所なり。今や同志を集合し其遵行する所の趣旨を以て世に質すに当り、聊か党派の行動に対して予が希望を披陳すべし。

抑閣臣の任免は憲法上の大権に属し、其簡拔採用或は政務員よりし或は党外の士を以てす。皆元首の自由意思に存す。而して其已に挙げられて輔弼の職に就き献替の事を行ふや、党員政友と雖も決して外より之に容喙するを許さず。苟も此本義を明にせざらむや、或は政機の運用を誤り、或は権力の争奪に流れ、其害言ふべからざるものあらむとす。

予は同志を集むるに於て全く此の弊竇の外に超立せむことを期す。凡そ政党の國家に対するや其全力を挙げ一意公に奉ずるを以て任とせざるべからず。凡そ行政を刷新して以て國運の隆興に伴はしめんとせば、一定の資格を設け党の内外を問ふことなく博く適當の學識経験を備ふる人才を収めざるべからず。党員たるの故を以て地位を与ふるに能否を論ぜざるが如きは断じて戒めざるべからず。地方若くは団体利害の問題に至りては亦一に公益を以て準と爲し、緩急を按じて之を施設を決せざるべからず。或は郷党の情實に泥み或は当業の請託を受け、与ふるに黨援を以てするが如きは亦断じて不可なり。予は同志と共に此の如きの陋弊を一洗せんことを希ふ。

政党にして國民の指導たらしむと欲せば、先づ自ら戒飭して其紀律を明にし其秩序を整て専ら奉公の誠を以て事に従はざるべからず。博文茲に自ら攜らず同志と立憲政友会を設け以て党派の宿弊を革めむことを企つるもの、区々の心腑が帝国憲政の将来に裨補して報効を万一に希圖せむとするに外ならず。茲に会の趣旨とする要領を具し以て天下同感の士に問ふ。

明治三十三年八月二十五日 侯爵 伊藤博文

(※侯爵伊藤博文「立憲政友会趣旨書」(一九〇〇年八月二十五日、国立国会図書館憲政資料室所蔵「伊藤博文関係文書(その一)」書類の部三四五一二)

- * 注 (1) 扞格・・・意見などが食い違ふこと (2) 宏願・・・広大な計画
(3) 献替・・・主君を輔佐し、善を勧めて悪をいさめること
(4) 弊竇・・・欠陥 (5) 戒飭・・・気をつけて慎むこと

- ① 第二次山県有朋内閣と提携していた憲政党が立憲政友会の創設に加わるに至る経緯について、知るところを述べなさい。
② 傍線 a に関連して、伊藤博文が憂慮している事柄を史料に即して述べなさい。
③ 文中の「」で括った部分の内容を、史料の記述に即して正確にまとめなさい。
④ 傍線 b に関連して、このような政党活動を行っている代表的な政治家と目され、後に暗殺された人物の氏名を挙げなさい。

(問題文は次に続く)

(六枚目／七枚中)

(Ⅳ) 次の設問(1)と(2)のうち、一つを選んで答えなさい。

[25点]

(1) 次の古文書を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。解答にあたっては、できるだけ原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【貞和五(一二四九)年八月二八日「足利直冬軍勢催促状」(岡野友彦研究代表『皇學館大学所蔵の中世文書』(平成二六年度～平成二八年度科学研究費基盤研究(C) 研究成果報告書「古文書の料紙と様式の有機的関連性についての史料学的アプローチ」同、二〇一七年、四二頁上段)】

(問題文は次に続く)

(七枚目／七枚中)

- (2) 次の古文書の見取書(くすし字をそのまま現在の文字に置きかえて写すこと)を記しなさい。なお、原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【国立公文書館内閣文庫編『内閣文庫影印叢刊 第八九巻 雑留(一)』(汲古書院、一九八八年)二四七頁上段】

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
日本学専攻 基盤日本学コース（考古学受験分野） 専門試験
[問題用紙は2枚です。]
（1枚目/2枚中）

問1 金属製品を用いた祭祀について、日本・アジア・欧米にわたって具体的な考古資料を挙げながら、それぞれの地域や時代による特徴を詳しく説明しなさい（800字以上）。

問2 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

- （1）枠内①を日本語に訳しなさい。
- （2）下線部②の研究の概要を説明しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

W.Ashmore & R.J.Sharer 1988, *Discovering Our Past*, Mayfield Publishing Company, p. 122, ll. 21-32.

問3 次の英文全体を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

K. R. Dark 1995, *Theoretical Archaeology*, Cornell University Press, p.132, ll. 1-6.

(2枚目／2枚中)

問4 次の語句等について、それぞれ詳しく説明しなさい。

- (1) Louis Leakey
- (2) 白頭山火山灰
- (3) Gobekli Tepe
- (4) 宋山里古墳群
- (5) 是川遺跡
- (6) 中里遺跡
- (7) 和泉黄金塚古墳
- (8) 細工谷遺跡
- (9) 鹿の子遺跡
- (10) モヨロ貝塚

〔問題用紙は八枚です。〕

（一枚目／八枚中）

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（この問題について解答用紙二枚を用い、縦書きにすること）

建春門女院の殿上の歌合に、関路落葉といふ題に、頼政卿の歌に、

A 都にはまだ青葉にて見しかども紅葉散り敷く白河の関

と詠まれて侍りしを、その度この題の歌をあまた詠みて、当日まで思ひ煩ひて、俊直を呼びて見せられければ、「この歌は、かの能因が『秋風ぞ吹く白河の関』といふ歌に似て侍り。されどこれは出で栄えすべき歌なり。かの歌ならねど、かくもとりなしてむと、くしげに詠めるところを見えたれ。似たりとて難とすべきさまにはあらず」と、計らひければ、今車をし寄せて乗られる時、「貴房の計らひを信じて、さらばこれを出だすべきにこそ。①後の咎はかり申すべし」と言ひかけて、出でられにけり。

その度、この歌思ひのことく出で栄えて勝ちにければ、帰りてすなはち悦び言ひつかはしたりけるとぞ。「見るところありてしな申したりしかど、勝負聞かざりしほどは、あひなくよそにて胸つぶれ侍りしに、②いみじき画名したりとなむ、心ばかりは覚え侍りし」とぞ、俊直語り侍りし。

（『無名抄』より）

問一 A の和歌を現代語訳しなさい。その際、「青葉」と「紅葉」の関係、「都」と「白河の関」の地理的關係を踏まえて、分かりやすく現代語訳すること。

問二 傍線部①を、文脈を踏まえて分かりやすく現代語訳しなさい。

問三 傍線部②のように俊直が思ったのは何故か。この説話全体を踏まえて説明しなさい。

問四 画像になっている部分七行分を正確に翻刻しなさい。ルビは翻刻しなくともよい。

【二】 次の資料は、一九〇五年（明治三十八）に告示された「文法上許容スベキ事項」より二項目を抜粋し、表記を一部あらためたものです。これを読んで、後の問いに答えなさい。

（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

三 過去ノ助動詞ノ「キ」ノ連体言ノ「シ」ヲ終止言ニ用ナルモ妨ナシ

例 火災ハ二時間ノ長キニ亘リテ鎮火セザリシ

金融ノ静謐ナリシ割合ニハ金利ノ引弛ヲ見ザリシ

七 「得シム」トイフベキ場合ニ「得セシム」ト用ナルモ妨ナシ

例 最優等者ニノミ褒賞ヲ得セシム

上下貴賤ノ別ナク各其地位ニ安ンズルコトヲ得セシムベシ

（『官報』第六七二八号より）

問一 第三項について、この事項が「妨ナシ」とみなされるようになったのは文法史上の変化が背景にあると考えられる。この変化について知るところを述べなさい。

問二 第七項について、「得セシム」が誤用とみなされた理由を、古典文法の用語を使って簡潔に説明しなさい。

問三 この「文法上許容スベキ事項」のように、本来誤用とみなされたものが、一般化し通用するようになる現象はしばしば認められる。日本語史上のこのような現象のうち、問一・問二でとりあげた以外の具体的な事例を一つあげ、その変化がどのように進んだか、またなぜその変化が生じ進んだと考えられるかを、詳しく説明しなさい。文法でなく、音韻に関わる事例でもよい。

(三枚目／八枚中)

*日本文学専攻予定のものは三(A)を、日本語史学専攻予定のものは三(B)を選択しなさい。

三(A) 次の文章は、高橋たか子の小説『病身』の一節です。彼女と彼は、病院に向かいます。この文章を読み、後の問いに答えなさい。

(この問題について解答用紙一枚を用い、横書きにすること)

〔引用は『高橋たか子自選小説集1』(講談社、一九九四年)四七六頁、四八五―四九四頁。なお、引用にあたって一部省略している〕

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典は問題文の通りです。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典は問題文の通りです。

(四枚目／八枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典は問題文の通りです。

(五枚目／八枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典は問題文の通りです。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
出典は問題文の通りです。

問一、傍線部①「そんな能力も、彼にたいする食欲さを前にしてはたと壁にあつかる」とは、どういうことか。「そんな能力」の内容を明らかにし、本文全体の内容を踏まえて説明しなさい。

問二、傍線部②「彼を質問によつてくるしめているのではなく、むしろ彼女がくるしい」とは、どういうことか。本文中で同様の内容を示す表現もあげながら、説明しなさい。

問三、傍線部③「何もたしかなことはわかりません。と、声がかたまのよつに返つてくる」という表現には、どのような意味や内容を読み取ることができただろうか。本文全体の内容を踏まえて解釈しなさい。

問四、もし、あなたがこの小説を論じるとしたら、どのように論じただろうか。小説テキスト内の分析、引用や翻案などの他作品との相互関係の考察や比較、あなた自身の問題関心と交錯させての考察など、この小説を論じる場合に、あなたが着想するアイデアや方向性を記しなさい。

*日本文学専攻予定のものは三(A)を、日本語中文学専攻予定のものは三(B)を選択しなさい。

三(B) 次の問いに答えなさい。(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

問一 以下の用語・事柄について、知るところを述べなさい。なお、分野・文脈等によって複数の意味を持つものであることを知っているのであれば、そのことについても記述することが望ましい。

(イ) 恣意性 (ロ) 固有語 (ハ) 『落葉集』

問二 以下に掲げるのは、近世後期上方語資料の一つで、諺・慣用句などが字義通りであるさまを規定して書いてある作品『診・贅の宿替』の一節である。まず、近世後期に於ける上方語の資料について知るところを述べた上で、掲載した部分から、自分なりの日本語史上の問題(研究テーマ)を一つ設定し(このような文献を調査資料の一つとするにふさわしい問題であることが望ましい)、その問題設定に対する調査方法(比較すべき関連資料などにも言及するのが望ましい)を具体的に書きなさい。

○眼へは入ても痛はひ孫

コレ／＼坊三 サア／＼又爺があすんでやりませう サア 小便など大便など何なりと わしがふとこちへたれながしにしてくれヨ マ、かあいやつじや よい子じやナ ア サア／＼是からまたいつものやうに眼の中へ入てやりませう ヤ／＼大きなあたまで此ちいさい目へ入るのじやけれど、なんぼはいつも 痛ひ事もなんともないとは ほんに可愛子は又かくべつじや これ／＼さうして眼の中へは入た内らほどのやうなものじやエ ようみへるかサ さうして上からのぞくと爺の腹の底までも見へて 是まで婆にも息子にもかくしてある臍くりがしれるやろうがナ 皆貴さまにやるほどに 爺が死んだらあんじやう身代を仕舞てくれヨ

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

日本学専攻 基盤日本学コース（基盤日本語学受験分野） 専門試験

〔問題用紙は2枚です。〕

（1枚目/2枚中）

〔1〕 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。答えは横書きで記しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

出典：立川健二・山田広昭（1990）『現代言語論—ソシュール フロイト ウィトゲンシュタイン—』新曜社、40頁1行～41頁17行

(2枚目/2枚中)

問1 以下の2つの問いに答えなさい。

- (1) 傍線部 (a) はどのようなことを述べているか。具体例をあげてわかりやすく説明しなさい。
- (2) 傍線部 (a) の考え方において、一般に「オノマトペ」と呼ばれるものはどのように扱われるべきか。あなたの考えを述べなさい。

問2 傍線部 (b) について、「共時的研究」／「通時的研究」といった観点からは、次の(1)と(2)の研究はそれぞれどのように位置づけられるべきか。あなたの考えを述べなさい。

- (1) 平安朝のような古代の一時期の日本語を、「ひとつの静止した状態・システム」として記述する研究。
- (2) 平安朝のような古代の一時期の日本語と現代日本語を、あたかも異なった言語のように対照させて、その違いや共通性の一般化を目指す研究。

問3 この文章では、ソシュールが言語学を「共時言語学」と「通時言語学」という2つの研究部門に分けることを提唱したとされているが、この区分について、あなた自身はどのように考えるか。自由に述べなさい。

[2] 次の12項目のなかから5項目を選び、それぞれについて5行から10行程度で説明しなさい。

- (1) 動詞の自他
- (2) 修飾関係
- (3) 語彙的アスペクト
- (4) 内心複合語
- (5) 借用語
- (6) 機能負担量
- (7) 同化
- (8) 過剰一般化
- (9) 継承語
- (10) エピソードトーク
- (11) フォリナートーク
- (12) 状態変化のトークン

[3] あなたが今後研究しようとするテーマに関連するキーワードを5つあげ、それぞれについて5行から10行程度で説明しなさい。

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
芸術学専攻 アート・メディア論コース 専門試験
〔問題用紙は2枚です。〕
（1枚目/2枚中）

問1 次に挙げる12の用語もしくは固有名詞のなかから自由に**5つ**を選び、それぞれを**5行程度の日本語**で説明しなさい。

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| (1) オープンリール | (2) エニグマ訴訟 |
| (3) 山口半六 | (4) エベネザー・ハワード『明日の田園都市』 |
| (5) 曾我廼家五郎 | (6) 西本願寺北能舞台 |
| (7) エキスパンデッド・シネマ | (8) ディープ・フォーカス (deep focus) |
| (9) コンタクト・インプロヴィゼーション | (10) 住吉踊り |
| (11) ヴェネチア・ビエンナーレ | (12) もの派 |

問2 次に挙げる6つの設問A～Fの内から自由に**2つ**を選び、日本語で解答しなさい。

A 音楽著作権について、文化の発展という視点から問題点をひとつ挙げて論じなさい。

B 日本最古の現存民家の一つ兵庫県神戸市の「箱木家」（別紙・図①・②）は、1977年に移築保存された際、創建当初（室町時代）の姿に復元されたために、それまで江戸時代以来の面影を残していた同家のたたずまいが破壊される結果ともなった。この事例をふまえたうえで、以下の2つの問いに答えなさい。

1. 歴史的建造物の復元作業によって、それまで親しまれてきた景観が劇的に変容を蒙った建物・都市景観の事例を、「箱木家」以外に**2つ**具体的に挙げ、比較分析しなさい。（取り上げる事例の国・地域や時代は問わない）
2. 今後の歴史的建造物の保存・活用のあり方について、A. 建造当初の姿に「復元」する、B. そうした介入を一切排して「現状維持」する、C. それ以外の方法を探る、の3つの視点をそれぞれ検討しながら、あなたの考えを述べなさい。

C 第二次世界大戦後における米国と日本の舞台芸術の交流について、実例をあげてその問題点を論じなさい。

D 国境を超えた映画のリメイクについて、具体的な例を挙げ、創造性の観点から分析してください。

E リアリティ・ショーにおける「やらせ」の問題点を、メディアやジャンルの特性との関連で説明しなさい。

F 現代における文化産業と芸術の関係について考えるところを述べなさい。

(2 枚目/2 枚中)

別紙

①箱木家・移築前

著作権の都合で削除

(図版出典)

https://blog-imgs-128.fc2.com/m/a/k/makurokurosk/IMG_0628-954-19.jpg

②箱木家・移築後

著作権の都合で削除

(図版出典)

https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/a/a6/Hakogike_house08.jpg

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

芸術学専攻 美学・文芸学コース（美学受験分野）専門試験

[問題用紙は3枚です]

（1枚目/3枚中）

すべて日本語で解答しなさい。

解答の文字数は問いません。

長文になるときは段落ごとに内容を整理すること。

- 問1 次の9つの語のうち2つの語を選んで、それぞれについて、その語の意味を確認したうえで、その語によって何が問題になってきたか、何が問題となりうるのかについて論じなさい。

(25×2=50点)

美的経験	モダニズム	構成
空間	機能主義	形（フォーム）
様式	建築	芸術作品

- 問2 次の文章は、Alan H. Goldman, *Aesthetic Value* (Westview Press, 1995), p. 17, II.1-24.からの一節です。別紙1の文章を読んで以下の2つの問いに答えなさい。(20×2=40点)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

① 文章では、美学の一つの方法論が示唆されています。美学は、何に注目して、何を明らかにできると考えられていますか。

② 2つ目の段落の最後では、芸術作品にそなわる性質 properties の二通りの理解のしかたが提示されています。この2通りの理解のしかたについて説明しなさい。

- 問3 自分の関心のある事柄について、典型的だとみられる3つの対象を取り上げて、3つの対象を取り上げる理由を述べてから、3つの観点から比較をおこない、3つの対象の違いを明らかにしなさい。解答にあたっては別紙2の表を用いて、書く内容を整理しておくといいでしょう。この表はあくまで便宜的なものですので、解答用紙に書き写す必要はありません。解答の時間が足りない場合には、3つの対象と、3つの観点を挙げるところまでは済ませてください。(60点)

別紙 1
(2枚目/3枚目)

別紙 2
(3 枚目/3 枚中)

	観点 1	観点 2	観点 3
典型 1			
典型 2			
典型 3			

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
芸術学専攻 音楽学・演劇学コース（音楽学受験分野） 専門試験
〔問題用紙は4枚です。〕
（1枚目/4枚中）

以下の問1～3について、解答用紙に「問1」「問2」「問3」と記入した上で、解答しなさい。

問1 別紙Aの文章を読み、あなたの研究に関連の深い分野において、ここで述べられているような事態をできるだけ具体的に跡付け（固有名詞、論文名、学説の内容などを具体的に挙げること）、音楽や音文化に関する見方の変化を論じなさい。

なお、文中の「先のバーバの引用」とはポストコロニアル主義の研究者、ホミ・バーバによる「普遍主義は民族中心主義的規範や価値体系、関心を隠蔽する」という言葉のこと。

〔出典：ニコラス・クック『音楽とは：ニコラス・クックが語る5つの視点』音楽之友社、2022年、192頁2行～14行〕〔配点40点〕

問2 別紙Bに掲げる英文を日本語に訳しなさい。なお文中の *retour à la vie* は「生への帰還」のこと。〔出典：László Somfai, “Introduction” in Béla Bartók Complete Critical Edition, Vol. 29, *String Quartets*, László Somfai (ed.), 2022, p.17, 1.50-74.〕〔配点50点〕

問3 別紙Cの英文を読んで以下の問いに答えなさい。〔出典：Roy Brewer, “The Use of Habanera Rhythm in Rockabilly Music”, *American Music*, Fall 1999, vol.17, No.3, p.300, 11.1-21.〕〔配点60点〕

（1）全文を日本語に訳しなさい。

（2）ここで述べられている「ジャンルの定義」にかかわる諸問題について、あなた自身の研究テーマと関連させながら論じなさい。

(2枚目/4枚中)

別紙A

※問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は問題文の通りです。

(3枚目/4枚中)

別紙B

※問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は問題文の通りです。

(4枚目／4枚中)

別紙 C

※問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は問題文の通りです。

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基礎日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
芸術学専攻 音楽学・演劇学コース（演劇学受験分野） 専門試験
〔問題用紙は3枚です。〕
（1枚目/3枚中）

※日本語で解答すること。

問1 以下の語すべてについて、それぞれ100字程度で説明しなさい。

- | | | |
|----------------|-------------|---------------|
| (1) 島村抱月 | (2) 『海の夫人』 | (3) 「スケルトン構造」 |
| (4) モスクワ芸術座 | (5) アルレッキーノ | (6) 定式幕 |
| (7) 隈取り | (8) 無形文化遺産 | (9) 竹豊時代 |
| (10) 「秘すれば花なり」 | | |

問2 選択問題です。設問1、設問2のどちらかを選んで解答しなさい。

設問1) 別紙1はOscar G. Brockett with Franklin J. Hildy, *History of the Theatre*, Tenth Edition, Allyn and Bacon, 2008, P.406. L.1.3-42の文章です。この文章を読み、(1)～(5)に答えなさい。

- (1) この文章で言及されている劇のうち一つを選び、その梗概を記しなさい。
- (2) 下線部(A)とありますが、広くこの時代のヨーロッパ演劇の中から、同様の傾向を持つ試みの一つを取り上げ、説明しなさい。
- (3) 下線部(B)とありますが、このことでどのような効果を生むと考えられるか、演劇史的に説明しなさい。
- (4) 下線部(C)について、日本語に訳しなさい。
- (5) 下線部(C)について、このような演出を行うことになった背景について説明しなさい。またそれはどのような効果を生むと考えるか、説明しなさい。

設問2) 別紙2は、『古今役者論語魁』（郡司正勝校注、日本思想大系『近世芸道論』483頁9行目～485頁4行目）の一節です。これを読んで(1)～(4)に答えなさい。

- (1) 傍線部A「市川海老蔵」について、知るところを述べなさい。
- (2) 傍線部B「荒事」について、知るところを述べなさい。
- (3) 傍線部Cは、傍線部Aの人物のお家芸で、歌舞伎特有の演技術「見得」のひとつに関する記述と考えられます。これについて知るところを述べたうえで、その舞台上の効果について、自分の考えを述べなさい。
- (4) 四角で囲ったDについて、どのような工夫を述べているのか明確になるように、全文を現代語訳しなさい。意識で構いません。

問3 演劇における異文化融合について、任意の具体的な作品をあげながら、その狙いや問題点について、自由に論じなさい。

別紙 1

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Oscar G. Brockett with Franklin J. Hildy, *History of the Theatre*, Tenth Edition, Allyn and Bacon, 2008,
P.406. L.L3-42

別紙2

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

『古今役者論語魁』（郡司正勝校注、日本思想大系『近世芸道論』483頁9行目～485頁4行目）

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
芸術学専攻 日本東洋美術史・西洋美術史コース（西洋美術史受験分野） 専門試験
[問題用紙は3枚です。]
（1枚目/3枚中）

問1 以下の用語の内3つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。[配点30点]

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1) アンコールワット | 2) 蒔絵 | 3) 白隠 |
| 4) 《メロードの祭壇画》 | 5) アントニオ・カノーヴァ | 6) コラージュ |

問2 問題用紙2枚目の英文を読み、全文を日本語に直しなさい。スペイン語の引用文については、続く英語訳の部分を訳してください。[配点60点]

* 出典：Laura R. Bass. *The Drama of the Portrait. Theater and Visual Culture in Early Modern Spain*, University Park, PA: The Pennsylvania State University Press, 2008: p.79/1.1- 51（脚注省略）

問3 問題用紙3枚目の画像を見て、この絵画作品の時代、制作地域、様式、作者などを可能な限り推測し、推測の根拠を具体的に述べてください。[配点60点]

(2枚目/3枚中)

※問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は問題文の通りです。

(3 枚目/3 枚中)

※問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は問題文の通りです。